

ブッシュ大統領が「世界知的所有権デー」に際し
USPTO、WIPO を称えるメッセージを发出

2006年4月26日
JETRO NY 澤井、中山

ブッシュ米大統領は「世界知的所有権デー(World Intellectual Property Day)」に際して、世界知的所有権機関(WIPO)、米国特許商標庁(USPTO)並びにIP従事者を賛辞するメッセージを発表した。「世界知的所有権デー」は毎年4月26日とされ、2001年から始まり、今回で6度目となる。¹

大統領は同メッセージにおいて、国際競争の激化する今日において、自由貿易の確立と消費者及び発明者の保護のためには、知的財産権のエンフォースメントは重要であるとした上、世界知的所有権デーが知財の啓発に繋がり、多くの科学者、技術者、アーティストの活動が米社会に貢献していると賛辞している。

また、STOP イニシアティブを通じた模倣品対策強化、今年3月に成立した模倣品対策関連法(Stop Counterfeiting in Manufactured Goods Act)について触れ、知的財産保護の重要性をブッシュ政権が認識しているとしている。さらに、貿易相手国と協力し、世界中で知的財産の強力な保護を推進すると共に、貿易相手国が国際経済社会における責任ある利害共有者(stakeholders)となるよう促している。

なお、今般の大統領のメッセージはWIPO、USPTOを具体的に明示したものとなっており、米商務省、USTR等のホームページを見る限りは、現時点においては、同レターに触れた記事は発表されていない。また、昨年はこちらの大統領メッセージは发出されていない模様。

<ブッシュ大統領のメッセージ> USPTO ホームページより
<http://www.uspto.gov/main/homepagenews/2006apr25message.pdf>

(了)

¹ 2000年のWIPO一般総会において、「すべての国の発展における知的財産の役割とその貢献を強調するとともに、人間の試み・努力に対する意識及び理解の向上を図る」という目的の下に、「WIPO設立条約」が発効した日にちなんで4月26日を「世界知的財産の日」とすることが決定された。(JPOホームページ)
<http://www.jpo.go.jp/torikumi/hiroba/1304-111.htm>

<参考> 「世界 IP Day」に関する WIPO プレスリリース(4月24日付け)
http://www.wipo.int/edocs/prdocs/en/2006/wipo_pr_2006_445.html#